

情報提供日	令和3年(2021年)3月11日(木)
問い合わせ先	広島市植物公園 管理課 在岡、久保、高井 TEL 082-922-3600

## 「草木染の世界」展 開催中

広島市植物公園の展示資料館 1階展示室で草木染の世界展を4月1日まで開催しています。

やさしい色に染め上がった上品な色合いで、展示室に一步踏み入ると、合成(化学)染料とは全くちがう、植物独特の心落ち着く天然染料を利用した「染め物」が温かく迎えてくれます。本年のNHK大河ドラマ「青天を衝け」で主人公渋沢栄一の生家の生業として取り上げられたことで「藍染」に注目が集まっています。

この他、会場では染色に用いる染料植物のサンプルを展示し、染め上がりの色とあわせて比較することができますようにしています。植物染料ならではの柔らかい色合いは魅力的です。

昨年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響に伴い展示会そのものが中止となりましたので、今年の展示会は2年ぶりということもあり力作ぞろいです。例年よりも作品数も多く、見ごたえのある展示となっています。

### 「草木染の世界」展(通算40回目)

期間: 3月6日(土)~4月1日(木)

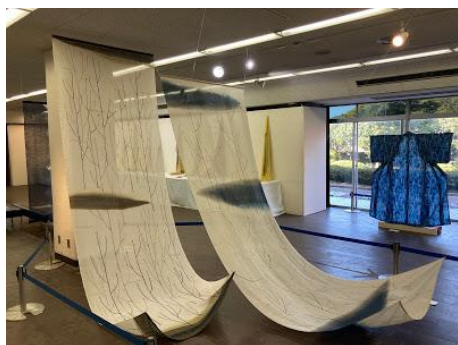
場所: 植物公園展示資料館1階展示室

出品: 広島草木染の会

- 内容:
- ・広島草木染の会の会員が制作した藍染作品(会員16名作品20点)の展示
  - ・植物の花や葉、実、根、樹皮などを利用して染めたスカーフと、染料植物、染色方法のパネル紹介



染料植物と染め上がりの色の紹介



「アイヌ神話集より」  
(寺田るみ子氏)



「不思議の海」 藍・版染浴衣  
(寺田勝彦氏)



会員らによる藍染の作品

### 草木染について

植物を利用して染色する方法は、古くから日本に存在しましたが、「草木染」という言葉は、昭和になってから新しく生まれた呼び名です。古くは植物の葉や樹皮・根などから出る液を布にこすりつけると言ったごく単純なものでしたが、いつしか鉄やミョウバンの水溶液に浸けると色が発色・定着(媒染)することが見出され、今日のような草木染になったのです。「草木染」には、大量生産できない、濃い色が出づらい、色にばらつきがでるなどの欠点もありますが、天然の美しさには、補ってあまりあるものがあります。

開園時間 午前9時から午後4時半まで(ただし、入園は午後4時まで)  
入園料 大人510円、65歳以上・高校生170円、中学生以下無料  
休園日 毎週金曜日